

2008年度の外部評価会議は内規に基づき以下の要領で実施した。

1. 第一回外部評価会議

日 時：平成20年6月4日(水)17:30～18:30

場 所：非常勤講師室

参加者：外部委員（樋口氏）

教育システム委員会委員長（辻）

教育成果点検評価委員委員長（鶴飼）

学務委員（及川、半井）

討議内容：

- ・ PDCA の取り組みについて
どのような基準を満足すれば「PDCA がうまく回っている」とするのかという、具体的な基準があるとよい。
- ・ 建設工学実験のプロジェクト型演習の取り組みについて
民間に行くなら特にこのようなトレーニングは重要だと思う。
大学の実験で積算（技術をお金で換算する）を取り入れるというのは画期的だと思う。
安全率の実態を肌で感じる点もよい。
- ・ 最近の学生について思うこと
言われたことをトレースしただけという学生が多い。トレースできること自体も重要だが、自分で考えるというスタンスが重要。

2. 第二回外部評価会議

日 時：平成20年6月11日(水)17:30～18:30

場 所：非常勤講師室

参加者：外部委員（山口氏）

教育システム委員会委員長（辻）

教育成果点検評価委員委員長（鶴飼）

学務委員（及川、半井）

討議内容：

- ・ PDCA の取り組みについて
目的意識と評価対象を明確にすることが重要
- ・ 建設工学実験のプロジェクト型演習の取り組みについて
初期コストが全てではないということもあわせて重要。最近はコスト意識が厳しくなっているが、全てが費用対効果で決定するわけではない。特に、インシヤルコストだけではかかれるものではなく、LCC の観点が重要。
- ・ 最近の学生について思うこと
最近の学生は感化されやすいと感じる。人任せにせず、自分で考えて自分で判断する、自分で解決することが重要である。大学教育においても、自分自身で考えるトレーニングが必要であると思う。

3. 企業懇談会の分科会での意見収集

日時：平成20年8月27日(水)13:35～16:00

場所：総研棟301室

担当：学務委員（及川、半井）

実施方法：意見記入用紙を配布して意見や感想を記入してもらった。なお、意見記入用紙においては2つの話題提供（授業成績評価の水準、カリキュラム特徴）を行い、それに対する意見や感想を書いてももらった。

結果：23枚の用紙を回収。内容については別紙参照のこと。

以上

【別紙】企業懇談会の分科会での意見収集 (2008.8.27 実施)

ID	Q1	Q2		Q3	Q4
		選択肢	自由記述	自由記述	自由記述
	業種	社会環境デザイン工学科では、授業内容と成績評価の水準として土木学会 2 級技術者認定試験レベル以上を目安として設定しています。このような水準設定について、あなたはどのように感じになりますか？		社会環境デザイン工学科のカリキュラムの概要はパネルに掲示のとおりですが、その主な特徴としては、以下のようなことが挙げられます。「土木関連科目を中心に防災関連科目や環境衛生関連科目でカリキュラムが構成されています。」「これらの専門科目の融合としてハード系・ソフト系の広範にわたる卒業研究テーマが展開されています。」「建設工学実験において新たにプロジェクト型演習を導入しています。」以上のような学科の特徴についての印象やご意見・ご感想などをお聞かせ頂けると幸いです。とくに、企業に就職する大卒生に備わってほしいと思う知識・能力や、それを養うためのカリキュラムとして本学科の科目群の過不足についての印象といったご意見ご感想をお聞かせ頂けると幸いです。	そのほか、社会環境デザイン工学科の教育面・研究面など全般に関して、ご意見ご感想などございましたらご記入下さい。
1	ガラス・土石製品	適切だと思う	1・2級土木施工管理技士, 技術士等も設定してはいいかでしょうか。		
2	卸売	わからない			専門性だけでなく、社会との関わり合い、事業の目的の捉え方を把握した思考づくりして下さい。
3	卸売	わからない			
4	その他製造	適切だと思う			
5	建築業	わからない		私見ではございますが、当社は建築設備を業としている企業でございますので、環境工学や環境水質工学などの科目に加え、建築設備の概論やそれに関わる省エネルギーについて選択科目として頂ければ幸いです。	実験などを通じて苦難と成功体験を享受できる環境を多く提供して頂ければと存じます。
6	建築業	適切だと思う			
7	コンサルタント	わからない			■土木系学科の卒業生は公務員になる方が多いようです。スペシャリストとともに、ジェネラリストの育成を行ってほしい。■各分野をまたぐような教育をしてほしい。例えば、流域を単位とした社会環境・エネルギー・経済・自然環境などを俯瞰する技術。再生可能エネルギー・生態学も土木技術者にとって必要。
8	土木・建設業	適切だと思う	入社後、技術士にチャレンジさせますので、学生のうちから外部の基準にテラス考え方は適切と思います。	環境関連事業は当社も積極的に関わっている分野です(土壌水質浄化等)。但し、事業のメインは土木建造物ですので環境事業のみ携わりたいたいという志向の学生が最近多いことに、とまどっているところです。	
9	ガラス・土石製品	適切だと思う		まずは基礎工学をしっかり鍛えていただければと思います。次に、自力で研究開発をすすめる力を磨いてほしい。	
10	建築業	適切だと思う			

	Q1	Q2	Q3	Q4
11	土木・建設業	適切だと思う	最近、大学名・学科名を変更し、これに伴い履修科目も改変され、各大学毎に特色を出している傾向にあります。土木・建設に携わるに不可欠となるコンクリート・土質・水理・構造・材料といった基礎科目を選択性としている大学も見受けられる。群馬大学では現在もこれら基礎科目を必修としているようだが、この姿勢を変えることなく、「ものづくり」に興味を持たせるような教育を心がけて頂きたいと思います。	
12	土木・建設業	適切だと思う		
13	土木・建設業	適切だと思う		先だつての宮城内陸地震に代表されるように、地震の多い日本で安全に暮らしていけるように実験や各種データに基づいたいろいろな知恵(豊かな発想)を生み出されると良いと思います。我々ゼネコンも先人たちの教えと若い発想を融合させて、未来永劫に渡って社会のお役に立つ基盤整備の一端を担っていこうと考えています。
14	サービス	適切だと思う	即戦力とはいかないまでも、新社会人としてのパスポートとして必要と思われます。	CAD 利用の知識、3次元 CG などの知識など。
15	ガラス・土石製品	わからない		
16	土木・建設業	わからない	土木学会2級についての知識ありませんでした。勉強します。	
17	土木・建設業	適切だと思う		
18	コンサルタント	適切だと思う		
19	情報・通信	わからない		
20	土木・建設業	適切だと思う		
21	土木・建設業	わからない		
22	土木・建設業	わからない	大変申し訳ありませんが、2級技術者認定試験レベルというものが分かりません。採用選考に学力試験がなくなる傾向にあるので、卒業生に一定レベルの学力水準を設定して頂けるのは企業の採用側としてありがたいと思います。	カリキュラムとして申し分ないと思います。大卒性に備わっていてほしいと思うのは、基礎学力も挙げられますが、卒業研究を通じて、物事を論理的に考え、解決する思考力が備わると良いと思います。
23	卸売	わからない	申し訳ございません。土木学会2級技術者レベルが高いのか低いのかわかりません。しかし、目標をもって学習させる姿勢はとても素晴らしいと思います。	特にありません。素晴らしいと思います。